国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 24 年 1 月 17 日

各　位

会社名　　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　　代表取締役社長　北村 俊昭
（コード番号　1605　東証第一部）
問合せ先　　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　橘高　公久
電話番号　　03-5572-0233

マレーシア サバ州沖における新規 2 鉱区の取得について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、本年 1 月 17 日付でマレーシア国営石油会社であるペトロナス社より、当社子会社を通じて、マレーシア サバ州沖深海 S 鉱区（以下、S 鉱区）の 75%権益及び S 鉱区南西に位置するサバ州沖深海 R 鉱区（以下、R 鉱区）の 37.5%権益を同時に取得致しましたので、お知らせいたします。

S 鉱区は、当社子会社であるインペックス北西サバ沖石油（株）がオペレーター（操業主体）として 75%の鉱区権益を保有し、25%の鉱区権益を保有するペトロナス社の子会社であるペトロナスチャリガリ社（以下、チャリガリ社）とともに事業を推進してまいります。同鉱区はマレーシアボルネオ島サバ州コタキナバル市北西沖合約 120km に位置し、水深 200m～1,500m、鉱区面積は約 574km²です。S 鉱区が位置する海域は、キケ(Kikeh)油田やガムスット(Gumsut)油田といった大規模油田が発見されている、原油・天然ガス田の発見が期待できる有望な地域であり、今後、三次元地震探鉱のデータ収録および解釈作業を実施し、2014 年頃に 2 坑の試掘井を掘削する予定です。

一方の R 鉱区は、同じく当社子会社であるインペックス南西サバ沖石油（株）が 37.5%の鉱区権益を保有し、37.5%の鉱区権益を保有するオペレーター（操業主体）である JX 日鉱日石開発株式会社および 25%の鉱区権益を保有するチャリガリ社とともに事業を推進してまいります。同鉱区はマレーシアボルネオ島サバ州コタキナバル市西沖合約 180km に位置し、水深 100m～1,400m、鉱区面積は約 672km²です。R 鉱区についても同様に有望な地域であり、今後、三次元地震探鉱のデータ収録および解釈作業を実施し、2014 年頃に 3 坑の試掘井を掘削する予定です。

今回のマレーシアにおける権益取得は、2008 年の経営統合以降、当社が同国において手掛ける初のプロジェクトとなります。当社は、同国における円滑な事業推進のため、今春にも、新たにマレーシアの首都クアラルンプールに現地事務所を開設する予定です。同国への事業参入は、当社グループのポートフォリオバランスの拡充に資するものであり、当社は、今後も同地域における事業展開に積極的に取り組んでまいります。

以上

国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

＜S 鉱区概要＞

鉱区面積	574km²
権益比率	インペックス北西サバ沖石油（株）　75%（オペレーター） ペトロナスチャリガリ社　25%
鉱区位置	マレーシアボルネオ島サバ州コタキナバル市北西沖合約 120km
水深	200～1,500m

＜R 鉱区概要＞

鉱区面積	672km²
権益比率	JX 日鉱日石サバ深海石油開発（株）　37.5%（オペレーター） インペックス南西サバ沖石油（株）　37.5% ペトロナスチャリガリ社　25%
鉱区位置	マレーシアボルネオ島サバ州コタキナバル市西沖合約 180km
水深	100～1,400m

＜鉱区位置図＞

